



元気モリモリ!!!通信

2025年 初夏号



衆議院議員

森山浩行

大阪府第16区(堺市 堺区・北区・東区)

プロフィール

◆堺生まれ、堺育ち

- 妻子と向陵西町(榎校区)在住
昭和46(1971)年4月8日金岡病院で生まれる
- 堺市立新金岡小学校入学/錦西小卒
- 堺市立月州中学校卒(水泳部)
- 大阪府立三国丘高卒(柔道部・生徒会)
- ◆明治大学法学部卒(雄弁部所属)
- ◆カンボジア、旧ユーゴスラビア、阪神大震災等でボランティア活動
- ◆関西テレビ放送(営業企画部・報道部記者)
- ◆堺市議会議員(1期 1999~2003)
- ◆大阪府議会議員(1期 2003~2005)
- ◆芦屋大学 元客員教授
- ◆羽衣国際大学 元客員助教授
- ◆堺市立三国丘中学校 前PTA会長
- ◆堺高石青年会議所シニアクラブ 会員
- ◆堺市倫理法人会 顧問
- ◆日創研 南大阪経営研究会 会員

現在の役職

- 衆議院.....
- ◆国土交通委員会理事
- ◆震災復興・災害対策特別委員会理事
- 立憲民主党.....
- ◆国会対策副委員長
(内閣・国土交通・災害特・拉致特 担当)
- ◆企業団体交流委員長代理 ◆大阪府連代表

森山浩行事務所

[堺事務所] 〒590-0078
大阪府堺市堺区南瓦町1-21 宏昌センタービル2F
TEL.072-233-8188 FAX.072-233-8185

[国会事務所] 〒100-8982
東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館613号
TEL.03-3508-7426 FAX.03-3508-3906

Mail: office@moriyama.club
https://www.moriyama.club



立憲民主党 立憲民主編集部

〒102-0093
東京都千代田区平河町 2-12-4
ふじビル3F
Tel. 03-6811-2301
Fax. 03-6811-2302



橋口れい 公認決定

立憲民主党では第27回参議院大阪選挙区の候補予定者として、4月22日に公認決定。

5月28日に小沢一郎党参議院選挙対策本部長代理、田中宏和連合大阪会長とともに開催した記者会見では「日本の99%以上を占める中小企業、汗をかいて働く人々、これから働こうとする人たち、彼らが主権者として誇りのある社会を実現する。働くことを軸にした安心社会を私なりに政治の力で実現したい」と訴えました。



普段の参議院議員選挙は「政権へのお灸」がテーマになることが多いのですが、衆議院が与野党伯仲状態にある今、参議院選挙は「政権を賭けたたたかい(18議席の攻防)」になります。



物価高からあなたを守り抜く

立憲民主党の政策



与野党伯仲国会

予算も法案も続々修正 「政治は選挙で変わる」を実感

昨秋の衆議院総選挙ではカルト宗教やウラガネ問題で自公政権は大きく民意を失い、過半数割れ。立憲民主党が大幅な議席増(100→148議席)をいただくなど、国民の意思で与野党伯仲国会が実現しました。

12年に及ぶ自公政権による「一強多弱」時代の国会では、年末に非公開の「与党事前審査」を通った予算や法案は、いくら出来が悪くてもそのまま数の力で国会で修正されずに通過、附帯決議で要請を形にするのがやっとなりました。

今回の伯仲国会では歴史的な本予算の修正はもちろん、多くの委員会で運営の主導権は理事会の過半数(5対3)を握る野党のものとなり、政府提出法案に対し野党発案の修正案が次々国会を通過。与野党協議で修正しながら法案を通す大変生産性の高い国会が実現。

また地元・大阪では総選挙で自公の国会議員が激減、多くの各種団体や業界団体から現場の困り事の相談や意見交換に、私たちとの交流が増えています。

各官庁とのやりとりも活発化、政権交代後のイメージを共有するなど各分野で準備を着々と進めています。

維新退潮

大阪でも鮮明に

大阪で安倍・菅政権時代に「一強」を誇り、全国政党を目指してきた「維新」についても昨秋の衆議院総選挙で選挙区では議席を確保したものの、大阪府内の比例得票は21年から24年で171万→115万と56万票の減となりました。

議席減の責任をとって代表は交代。新執行部は国会で野党であるのに自公政権の予算案に賛成するなど与野党の間を行き来し「何をやる政党かわからない」との見方が広まり、政党支持率も回復の兆しが見えません。

5月15日の読売新聞では「日本維新の会で地方議員の減少に歯止めがかからず、退潮傾向が鮮明になっている。2023年統一地方選を経て地方議員と首長は810人を超えたが、今年4月末時点で約1割減となる742人に減少した。党を批判した離党者が目立ち、夏の参院選を前に党関係者は危機感を強めている。」と報じられており、公明と袂を分かった今、維新が過半数を持って強行採決のできる議会は「大阪府議会・大阪市会」のみとなりました。

また「維新を抜きたい」という複数の自治体議員からの話も私たちの耳に届いています。

橋口れい&森山浩行 堺での活動予定



ZOOM座談会

▶ 6/13(金) 18:30~19:30

元気モリモリ座談会

▶ 堺市立東文化会館
生涯学習施設
6/29(日) 16:00~17:00

橋口れい公式SNS

続々告知します!



街頭演説会

▶ 三国ヶ丘駅ロータリー
6/8(日) 18:00~18:30
▶ 中百舌鳥駅ロータリー
6/15(日) 11:00~12:00

どなたでもご参加いただけますが、会場の都合上事前に事務所にご連絡ください。

街頭演説会 告知三連ポスターご協力お願い

こちらのポスター(A2・A1)を駐車場やご自宅・会社などの壁に貼らせていただきたく、ご協力いただける方は森山事務所までご連絡ください。

※宗教施設については固定資産税減免の「専ら(もっぱら)宗教活動」に使うためとの法令に触れて固定資産税減免の対象外となる可能性があるため、ご協力をお願いしていません。

対談

森山浩行 × 橋口れい

この4月22日に立憲民主党で公認決定し、参議院総支部長に就任した橋口れいさんと世代も近い森山浩行大阪府連代表（衆議院議員）で今の政治の問題点やこれからの日本、大阪について語り合いました。

橋口れい【略歴】

東海大学付属仰星高・同志社大学法学部卒業
弁護士（大阪弁護士会副会長 歴任）
龍谷大学・同志社大学・
神戸大学法科大学院非常勤講師 歴任

か？を確認しながら人々の思いに照らすと複雑で大変な仕事を目の当たりにしました。

森山 当時、ボランティア元年と呼ばれました。避難所のひとりあたりのスペース（難民のための「スフィア基準」に満たない！）や居住環境の悪さは今に続く問題です。

橋口 避難所については災害弱者と呼ばれる女性や高齢者・障害者への対応は当然は もちろん、今でもまだまだ課題が多いと思っています。

森山 そこから30年、東日本大震災をはじめ近年災害は激甚化・多発しています。私はこの間一貫して責任者として災害に関わり、日本自体が経験を重ねる中で初動から避難所、復旧や復興各段階でずいぶん法律や制度の改正を重ねています。災害が起こるたびに新たな「制度の穴」が見つかり、対応していますが、課題は多いです。

橋口 **そもそもの災害法制のあり方、つまり被災者目線の制度づくりや権利関係の整理のための普段からの制度的後押しには、さらに法改正が必要です。そして消防・警察・自衛隊や市職員・ボランティアの連携やイタリアのような緊急救助隊の整備など、「なんでも民間に任せたい」という風潮の中で失われてきたいざという時の災害対応機能を取り戻すことが緊急の課題と考えています。現場を見て来た中から、第一次避難の大切さに加えて、今の空き家問題に照らして、第二次避難をどう描くかの制度改革に取り組みたいです。**

森山 あらためて、国民のいのちと暮らしを守る**ことが政治のいちばん大事な仕事**です。特に大阪では【今だけ、カネだけ、自分だけの政治】が続き、全国平均を下回る経済成長や行政の機能の低下が止まりません。今こそ、**しっかり選択肢を示すことが大事**です。



1. 立憲民主党の政策

森山 今回、私たち立憲民主党から国会を目指そう！と思われたきっかけは何ですか？

橋口 日本の政治が行き詰まる中、立憲民主党の持つ政権の選択肢としての現実的な政策立案能力、目の前の対策として食料品消費税ゼロを打ち出すなどの柔軟な判断力、そして人権や多様性を大事にするスタンスに共感しています。

森山 私たちの政治は「まずは国民の生活を守る」という考えが基本です。民のかまど（堺に陵がある仁徳天皇が、高台から民家のかまどから炊煙が上がっていないのを見て、民が貧困に苦しんでいることを知り、3年間税を免除したという逸話）」にも通じますね。

橋口 一方で、子どもたちの未来のためには長期的視野も必要です。

森山 埼玉県八潮市で下水管破裂による道路陥没事故が起こりました。どんどん新しいもの、大きいものをつくってきたこれまでのやり方が問われるとともに道路や橋、上下水道など老朽インフラの総点検が必要です。私たちは行きすぎた行政改革を見直し、「機能する政府を目指す」取り組みを進めます。

橋口 他にも学校の先生が足りないとか、災害の救援に向かう消防・警察・自衛隊の人数が足りないとか、生活相談の窓口が列になっているとか、多くの現場が困っています。私たち立憲民主党の8つの政策の柱をもとに、そうした問題を解決していきたいです。

2. 大阪への思い

橋口 大阪府って、大阪も、堺も、岸和田からの泉南地域も、それぞれ歴史や文化や、祭り、違いますよね。それぞれの地域の歴史や文化を大事にしてこそ、地域創生だと思うのです。それを後押しする仕組みを大阪から作りたと思います。全力で訴えて、大阪から政治を変えていく決意です！

森山 私も堺の地元でメンバーとしてふとん太鼓や神輿を担ぎに参加しています。例えば大阪で進められている**カジノはギャンブル依存症や海外の犯罪組織対策などの課題がある上、オンラインカジノ（日本では違法）などに押されて儲からないビジネスモデル**となり論外ですが、どこにでもつくれるもので活性化を目指すのではなく、**地域に根ざした形での賑わいやまちづくりに、共に取り組みましよう。**

3. 民主主義の危機

～何が本当か～

森山 私もテレビ記者出身ですが、橋口さんはテレビでコメンテーターをされていましたね。

橋口 はい、法律家として社会のあるべき姿を発信したいと思って出演していましたが、えっ、それってホンマなの？という確定していない事実、意見を前提にして議論していいのかな？という場面で困ったことがありました。

森山 事実（ファクト）と、意見（オピニオン）を分けて話すのが報道の基本です。でも、テレビでは「事実っぽいけど確認できてない話」で議論が進んでしまうことがあります。それを防ぐために、子どものころから「メディアの見方」を学ぶ教育が必要です。

橋口 SNSでは特にウソやあやしい情報がたくさん流れています。最近では選挙にも影響が出ていて、公職選挙法でも想定されていない課題で、対応しきれっていません。これは民主主義の危機だと思います。法律改正が必要です。

森山 民主主義の危機の文脈では、前回総選挙ではカルト宗教やウラガネに政策が左右されるべきではないという民意が示されて12年続いた自公政権による一強多弱の政治が終わり、与野党伯仲国会となっています。徹底した政治資金の透明化と企業団体献金の禁止はこの春までにやる約束でしたが、与党や一部野党が尻込みして前に進んでいません。

橋口 もう一度、国民の思いをはっきり示してもらえるように頑張ります！

4. 「いのちを守る」こと

～災害対策で機能する政府を～

森山 私も学生ボランティアや記者として震災復興に関わってきましたが、橋口さんにとっても原点だとお聞きました。

橋口 はい、私の場合、発災時は、司法試験に合格した後でした。大阪で育ち、京都で学び、三都物語を完成させるべく、神戸修習を希望していました。その後の地震で、研修所からは他の県への移転も勧められましたが、神戸の弁護士会会長から、「今の神戸を見ないで、被災者の今を見ないで何を見るんだ！」と励まされ、神戸で修習をさせていただきました。修習生とはいえ法律家として関わるわけですから、被災者の方々の状況をお聞きし、法律と格闘しながら前へ進んでいく日々でした。特に全壊や半壊となった住宅は誰のものか、マンションの建替の有無はどう決めるのか、など権利関係の整理は、当時の法律でどこまでできるの